

船舶事故等調査報告書

平成23年8月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第113号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年6月13日（日） 13時38分ごろ	
発生場所	兵庫県明石市明石港 明石港東外港西防波堤灯台から真方位045° 6.3m付近 （概位 北緯34° 38.5′ 東経134° 59.4′）	
事故等調査の経過	平成22年6月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	旅客船 あさかぜ丸、1,296トン	
船舶番号、船舶所有者等	129242、明石淡路フェリー株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷プロペラ翼4枚曲損、左舷舵板擦過傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか7人が乗り組み、乗客47人を乗せ、車両11台を積載し、船首約2.70m、船尾約2.70mの喫水で明石港内を係留岸壁に向けて北進中、平成22年6月13日13時38分ごろ、船長が潮流に圧流されると思い、いつもより明石港東外港西防波堤に近づいて航行していたところ、同防波堤付近の浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南西、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮流 東南東流約5.5ノット、潮汐 ほぼ低潮時	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、明石港内を係留岸壁に向けて北進中、船長が、潮流に圧流されると思い、明石港東外港西防波堤に接近して航行したことから、同防波堤付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、明石港内を係留岸壁に向けて北進中、船長が、明石港東外港西防波堤に接近して航行したため、同防波堤付近の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	